



高円宮牌 2013ホッケー日本リーグ【女子】 第2節 第4日

開催日時 4月14日(日) 会場 立命館大学柘野ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合	グラクソ・スミスクライン	0	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$	4	山梨学院CROWNING GLORIES
第2試合	南都銀行SHOOTING STARS	5	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	0	天理大学ベアーズ
第3試合	ソニーHC BRAVIA Ladies	4	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	0	東海学院大学
第4試合	立命館大学ホリーズ	0	$\begin{pmatrix} 0 - 3 \\ 0 - 6 \end{pmatrix}$	9	コカ・コーラウエストレッドスパークス

【各試合の結果・詳細】

第1試合

グラクソ・スミスライン 0 $\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$ 4 山梨学院CROWNING GLORIES

勝点 3
1 勝 0 分 1 敗

勝点 4
1 勝 1 分 2 敗

<得点>

グラクソ :

山梨 : 21分花田、32分田中、40分佐藤、64分佐藤

<戦評>

山梨学院のセンターパスで試合が開始される。前半早々から山梨学院が激しい攻撃を仕掛ける。序盤は両チームともサークル内へ入れない状態が続く。15分、グラクソが速攻から山梨学院サークル内へ侵入、シュートを撃つがゴールから外れる。21分、山梨学院はグラクソのサークル内へ侵入しサークル右側から#6岡田がセンタリング、#17花田がそのボールをタッチし先制点を挙げる。ここで勢いをつけた山梨学院はその後も激しい攻撃を仕掛ける。32分、山梨学院がPCを取得、#1田中がリバースシュートで2点目を決め、前半終了。後半に入り、39分、グラクソ陣サークル内の混戦から山梨学院#12佐藤が押し込み3点目をあげる。対するグラクソは43分、62分とシュートチャンスを得るもキーパーに阻まれる。そして63分、山梨学院は高い位置でインターセプトした#12佐藤が、サークル左からリバースシュートを決めて4-0とし、そのまま山梨学院が勝利した。

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	寿山 由樹
ジャッジ	田村 忍・松原 久		藤村 利道

第2試合

南都銀行SHOOTING STARS 5 $\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 6
2 勝 0 分 0 敗

勝点 1
0 勝 1 分 2 敗

<得点>

南都 : 6分オウンゴール、12分爲藤、28分西岡、45分前田、67分佐々木

天理

<戦評>

南都のセンターパスで試合が開始される。序盤から南都銀行が攻めの姿勢に入る。6分、南都の攻撃から左サイドでセンタリング、これが天理DFに当たりオウンゴールとなって南都が先制点をあげる。その後も南都の猛攻が続く。12分、南都はPCのタッチを#8為藤が決めて追加点をあげる。28分にも南都はPCから右で待ち構えた#11西岡がタッチで決めて3-0と突き放す。天理も右サイドからチャンスを窺うが、攻撃のラインを上げることができず攻め上がれない。後半に入っても南都が優位にゲームを進める。45分、南都は左サイド23m付近から早いクロスの中#13前田が中央で合わせて4点目をあげる。63分、天理は左サイドからの鋭いクロスでゴールに迫るが得点には至らない。そして67分には南都#16佐々木が豪快なヒットシュートで5点目をあげ、5-0で南都銀行が試合に勝利した。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	中元 大輔
ジャッジ	久木 寿一・一谷 徹		根岸 郁美

第3試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 4 $\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 0 東海学院大学

勝点 6 勝点 6
2 勝 0 分 0 敗 2 勝 0 分 2 敗

<得点>

ソニー : 20分佐藤、24分金、33分中島、59分深野

東海 :

<戦評>

東海のセンターパスで試合が始まる。最初にチャンスを得たのは東海。5分、東海はPCを取得するがソニーDFに阻まれ得点には至らない。7分、次はソニーがPCを取得。東海DFのクリアからカウンターによりPCを2本続けて獲得するも得点には至らない。迎えた20分、ソニーはサークル内でボールを繋ぎ最後は#11佐藤が押し込み先制する。ここで勢いをつけたソニーは続く24分にも#9金がサークル内でボールを受けヒットシュートを決める。東海も反撃を試みるが、ソニーの早いプレスの前にチャンスを作れない。その後もソニーが試合の主導権を握り、33分にPCから#10中島がタッチシュートを決め3点目をあげる。後半の立ち上がりもソニーがボールを支配し、東海がカウンターを狙うという試合展開であったが、お互いに決定機を物に出来ない。そして57分、ソニーのシュートを東海GKがクリアミス、PCとなる。二度のアゲインから続く59分、ソニー#8深野のタッチシュートが決まり4-0となる。その後も65分、67分とソニーは立て続けにPCを取得するが決める事ができない。そのまま試合は終了し、4-0でソニーの勝利となる。

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	内田 太
ジャッジ	田村 忍・松原 久		我妻 順子

第4試合

立命館大学ホリーズ 0 $\begin{pmatrix} 0 - 3 \\ 0 - 6 \end{pmatrix}$ 9 コカ・コーラウエストレッドスパークス

勝点 3 勝点 6
1 勝 0 分 3 敗 2 勝 0 分 0 敗

<得点>

立命 :

コカ : 4分新井、15分大田、20分駒澤、48分大田、55分川端、57分西村、63分金、66分小野

<戦評>

CCWRのセンターパスで試合が開始される。序盤からCCWRが激しい攻撃を仕掛ける。1分、早くもCCWRがシュートチャンス、これは立命GKに止められる。続く4分、CCWRが立命サークル内へ侵入、CCWR#9新井がリバウンドを押し込み先制点をあげる。その後9分、10分とCCWRは二度のチャンスを得るものの立命GKが好セーブを見せる。迎えた15分、CCWRのPCから#6大田が2点目をあげる。20分、またもCCWRはPCを取得、#11駒澤がタッチを決め3-0で前半を折り返す。後半戦に入ってもCCWRの攻撃の手は緩まない。40分、46分とCCWRは二度のPCのチャンスを得るが決めることができない。そして48分、#6大田がシュートを決め追加点をあげる。55分には#15川端が、57分には#5西村がシュートを決め6-0と大きく差をつける。その後もCCWRの攻撃は続き、63分にはPCから#16金が、67分には#8小野、68分には#21岩尾がそれぞれ得点をあげ9-0でCCWRが試合に勝利した。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	高橋 英行
ジャッジ	久木 寿一・一谷 徹		安岡 裕美子